

第 15 回友好都市サミット共同宣言

本日、我々は、別海町の町制施行 50 周年記念式典開催の年に、第 15 回友好都市サミットを開催し、「友好都市間の連携を一步前へ」をテーマに、互いの産業間連携など、今後の相互連携や友好都市のあり方について語り合った。

近年流行している新型コロナウイルス感染症は、観光業や飲食業をはじめ、多くの産業分野に甚大なダメージを与え、今なお地域経済に影響をもたらしている。そのような状況の中、各都市の垣根を超え、市民・事業者中心の連携を行うことが、都市の新たな魅力を生み出し、経済活動の循環促進に大きく寄与することになる。

私たち友好都市は、これまでも、物産展や各種交流事業などを通じ、各都市の名産品、観光地及び観光資源などを紹介する取り組みを行ってきたが、北海道・本州・四国・沖縄と、日本列島の北から南まで、地理的な多様性をもつ各都市の特色を生かし、さらなる経済波及効果の増大を念頭においた連携に向けて取り組んでいく必要がある。

そこで我々は、これまでの友好交流により培った友愛の精神に基づき、これまでの友好交流をさらに一步前へ進め、強い絆で結ばれたそれぞれの自治体のまちづくりに寄与することをここに宣言する。

令和 4 年 10 月 24 日

北海道別海町長

南根 快三

沖縄県名護市長

渡具知 武豊

大阪府枚方市長

伏見 隆

高知県四万十市長

中平 正宏